

平成 31 年度 全国学力・学習状況調査結果と考察

令和元年 12 月 2 日
東御市教育委員会

東御市小学校、中学校の結果の考察概要

☆ 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析するとともに、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図り、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

I 児童生徒に対する調査

1 教科に関する調査

教科に関する調査（国語、算数・数学、英語）

- ①身につけておかなければ、後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や実生活において不可欠であり、常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能など
- ②知識・技能等を実生活の様々な場面を活用する力や、様々な問題解決のための構想を立て、実践し、評価・改善する力などに関わる内容

・英語においては、「聞くこと」「読むこと」「書くこと」に関する問題を出題。

2 調査分類・区分

小学校	国語	算数
分類	区分	区分
学習指導要領の領域等	☆話すこと・聞くこと ☆書くこと ☆読むこと ☆伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	☆数と計算 ☆量と測定 ☆図形 ☆数量関係
評価の観点	☆国語の関心・意欲・態度 ☆話す・聞く能力 ☆書く能力 ☆読む能力 ☆言語についての知識・理解・技能	☆算数への関心・意欲・態度 ☆数学的な考え方 ☆数量や図形についての技能 ☆数量や図形についての知識・理解
問題形式	☆選択式 ☆短答式 ☆記述式	☆選択式 ☆短答式 ☆記述式

中学校	国語	数学	英語
分類	区分	区分	区分
学習指導要領の領域等	☆話すこと・聞くこと ☆書くこと ☆読むこと ☆伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	☆数と式 ☆図形 ☆関数 ☆資料の活用	☆聞くこと ☆話すこと ☆読むこと ☆書くこと
評価の観点	☆国語への関心・意欲・態度 ☆話す・聞く能力 ☆書く能力 ☆読む能力 ☆言語についての知識・理解・技能	☆数学への関心・意欲・態度 ☆数学的な見方や考え方 ☆数学的な技能 ☆数量や図形などについての知識・理解	☆コミュニケーションへの関心・意欲・態度 ☆外国語表現の能力 ☆外国語理解の能力 ☆言語や文化についての知識・理解
問題形式	☆選択式 ☆短答式 ☆記述式	☆選択式 ☆短答式 ☆記述式	☆選択式 ☆短答式 ☆記述式

Ⅱ 児童生徒を対象にした質問紙調査

結果

1 概要

○東御市における科目別平均正答率について

- ・小学校の本年度の結果は、国語、算数ともに全国平均、県平均よりわずかに上回り、ほぼ全国平均と同等。
- ・中学校の本年度の結果は、国語、数学、英語ともに全国・県平均を下回った。

2 小学校 教科別考察

(1) 小学校国語

学習指導要領の領域別（話すこと・聞くこと）（書くこと）（読むこと）（伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項）の中では、（書くこと）について、目的や意図に応じて自分の考えの理由を明確にし、まとめて書く問題で課題があった。相手意識を持って、わかりやすくまとめて書く活動や発表、話し合いなどの言語活動を授業場面でより多く取り入れて評価していきたい。

(2) 小学校 算数

学習指導要領の領域別（数と計算）（量と測定）（図形）（数量関係）の中で、（図形）の領域の「二つの合同な図形をずらしたり、回したり、裏がえしたりして、同じ長さの辺同士を合わせてつくることのできる図形を選ぶ」問題で課題があった。数量や図形についての知識理解はできている傾向にあるため、図形を様々な方向から見たり、操作しながら考えたりする学習を重ねていき、多角的な見方、考え方を育てていきたい。

3 小学校の児童質問用紙

○概ね満足でき今後も力を入れていきたい項目 ●今後力を入れていきたい項目

○生活リズムについては食事、睡眠とも規則正しく生活できている子どもが多い。

○自尊感情、自己肯定感、自分のよさの自覚、まわりの承認などほぼ全国平均であるが、今後も子どもたちに自信を持たせること、自らのよさを意識させるかかわり、できた、分かったが実感できる授業づくりに今後も力を入れていきたい。

○学校に行くのが楽しいと答える子どもは全国平均なみであるが、子どもたちが自らかかわり学びをつくる授業を目指していく。話し合い活動を通して、子ども同士がかかわりを深め、自分たちの力で学びをすすめていることが実感できる授業づくりをしていきたい。

○地域の行事への参加やかかわりを持つ子どもが多い。地域とのつながりによって、深まる学びを大切にしていきたい。

○読書が好きである子どもが多い。読書の習慣化ができていると評価できる。日常の読書指導、図書館利用の呼びかけや読み聞かせボランティアなどの活用なども影響していると思われる。今後も本好きな子どもたちを育てていきたい。

●家庭学習の時間が全国平均に比べて少ない。自ら計画をして行う家庭学習の習慣をつけていきたい。各校の家庭学習の手引きを生かす取組を進めていきたい。

●自分の考えを伝えるために、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表しているかの項目で課題がある。相手意識を持ち、根拠を持って話をする学習場面を教科の中で位置付けていきたい。

●ICTの活用を推進していく必要がある。環境整備と合わせて授業での効果的な利用方法の研修と実践を増やしていきたい。

4 中学校の教科別考察

(1) 中学校国語

学習指導要領の領域別（話すこと・聞くこと）（書くこと）（読むこと）（伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項）の中では、特に（読むこと）（伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項）で課題がある。読む能力に関する問題「文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉える」で改善が求められる。国語はもちろん他教科においても多くの文章にふれ、自分に必要な情報を捉えたり、まとめたりする学習を行うことを重視して授業づくりをしていきたい。

(2) 中学校数学

得点分布状況を見ると、上位と下位に二つの山がある。学習指導要領の領域別（数と計算）（量と測定）（図形）（数量関係）のすべての領域で基礎基本を見直し、基礎的事項の理

解を確実なものとする日々のドリル学習や家庭学習を行い、授業時間でも学習内容の振り返りを行ったり、生徒の理解の把握を明確にしていきたい。

(3) 中学校英語

学習指導要領の領域別の正答率を見ると（聞くこと）（読むこと）（書くこと）の中では、聞くことでは上回っているが（読むこと）（書くこと）で課題がある。「まとまりのある文章を読んで、話のあらすじを理解することや大切な部分を理解する」問題、また、「与えられた英語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりして、会話が成り立つように英文を書く」問題で課題がある。長い文章に触れ、要旨を捉える学習機会を多く持ち、場面に応じた文章を書くドリル学習を意識的に取り入れていきたい。

5 中学校 生徒質問紙

○概ね満足でき、今後も力を入れていきたい項目 **●今後力を入れていきたい項目**

- 食事、就寝など生活のリズムが守られている生徒が多い。
- 将来の夢や希望を持っている生徒の割合が高い。将来の生き方の希望を育てる支援、指導をさらに力を入れたい。
- 教師が生徒のよさを認め励ましている割合が高い。よさを認め、自己肯定感を高めるかかわりを今後も大切にしていきたい。
- 地域の行事に参加してかかわりを持つ生徒の割合が大変多い。地域とかかわり、地域を愛する生徒を今後も育てていきたい。
- 読書が好きである生徒が多い。図書館利用、本好きの生徒を継続的に育てていく。
- ICTを活用した学習が少ない。施設を充実させるとともに、ICTを活用した授業づくりを行っていく。
- 総合的な学習など自分で課題を立てて情報を集め、整理して、調べたことを発表する活動を増やしていきたい。
- 生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができているかに課題がある。学級づくり、授業での話し合い活動を充実させていきたい。
- 授業で学んだことをほかの学習に生かしていく、教科間のつながり、連携を大事にしていきたい。